

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
- 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
1.NPO法人SDS家族の会	26 (23～26), 29, 36	SDSリスク要因の知識の普及： 保健所を通じて、母子手帳を持つ妊婦に正しい知識を広めるためにリーフレットを配布。全国の妊婦に年間15000部、毎月配布。効果＝SDSによる死亡者数は95年の526人から2001年には290人まで減少。 ・病院・保育園に正しい対応を案内するレポートを配布。全国の病院と保育園1000カ所、3月に配布。効果＝レポートに対してはほぼ半数が評価するという回答		SDSリスク要因の知識の普及： 第8回SIDS国際会議（エドモントン）への参加、欧米諸国における活動を学ぶ。国際会議は医師、保健専門家、遺族や学生などが対象。 保健所を通じて、母子手帳を持つ妊婦に正しい知識を広めるためにリーフレットを配布。全国の妊婦に年間15000部、毎月配布。
2.(社)恩賜財団母子愛育会	3, 8, 9, 12, 15, 19, 28, 33, 44, 45	研修会「母子保健専門指導員研修会」 リプロダクティブヘルス 母子保健サービス 児童虐待への対応 目的：母子保健の課題と最新情報の修得、問題点の的確な把握及び対応能力の向上、対象：自治体勤務の保健師、助産師、看護師等母子保健関係者98名（延開催数：3回） 効果：母子保健の課題と最新情報に関する知識・技術の修得により、母子保健専門指導者の育成に寄与		
	37, 38, 44, 46, 48, 49, 55, 60	セミナー「乳幼児健康診査と育児支援」 目的：乳幼児健診に必要な知識の修得 対象：自治体の保健師、助産師、看護師82名 開催数：1回 効果：乳幼児健診に必要な知識と、育児支援・生活支援につながる視点と方法について認識を高める		
	19, 23, 28	セミナー「周産期医療における生命倫理」 目的：周産期における医療事故に関する理解を深める 対象：医師、看護師、助産師、保健師、福祉・教育関係者24名 開催数：1回 効果：医療事故に焦点をあてた講義・提言を基に討議を行い参加者の意識の向上を図るとともに医療事故に対する適切な判断力を培う		
	24, 46, 53, 60	セミナー「低出生体重児の成長と支援」 目的：低出生体重児、極低出生体重児の成長過程における問題点の把握 対象：保健師、看護師、保育士等83名 開催数：1回 効果：低出生体重児、極低出生体重児に係わる問題点を学び、母親の育児不安解消への支援を図る		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
2. (社)恩賜財団 母子愛育会	27, 28, 33, 37, 38, 43, 60, 62	セミナー「乳幼児保健」 目的:乳幼児の発達の基本的な特徴等疾病に関する育児に必要な知識の修得 対象:保健師、看護師、助産師、保育士、指導員、子育て事業関係者 90名 開催数:1回 効果:乳幼児の発達過程における基本的な特徴や発達途上での疾病やトラブルの把握を行い高度な知識を習得することにより、家庭や保育所施設等において適切な対応が可能となる		
	15, 19, 20, 23, 24, 25, 44, 52, 53, 60	研修会「周産期医療研修会」 医師コース 看護コース 目的:医師、看護師、助産師に対して新生児・未熟児の診断・治療・看護等の最新の理論と技術、情報を提供 対象:周産期医療に従事している医師、看護師、助産師。医師58名、看護師等212名(延) 開催数:4回(開催(医師1回、看護師等3回)) 効果:新生児・未熟児の診断治療に関する最新の知識と技術を習得させより高度な医療と看護を提供		
5. 子どもの心・体と環境を考える会	その他(小児保健医療水準の維持・向上に関する学際的なエビデンスの集積)	研究会誌「子どもの健康科学」第4巻2号発行 目的・内容:第2回テーマ別研究会(「研究方法立案ベーシック」質的研究)について、演者が論文化した研究会誌を作成 対象:本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ)に配布。一部の図書館に謹呈 配布数:350部を発行、配布 効果:実証的研究の基礎となる方法論について、それぞれの立場において認識を高めることができた		研究会誌「子どもの健康科学」の発行(第5巻2号・第6巻1号) 目的・内容:第5巻2号は「ストレスマネジメント教育」軽度発達障害」に関するテーマ別研究会の報告を含む予定。第6巻1号は第7会学術大会特集を予定 対象:本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ)に配布し、一部の図書館に謹呈予定 配布数:350部を発行、配布予定
	その他(小児保健医療水準の維持・向上に関する学際的なエビデンスの集積)	第6回学術大会開催 メインテーマ:「子どもの心・体と環境をもっと健康にしよう」 目的・内容:平成16年12月4日(土)5日(日)、長嶋正實大会長(あいち小児保健医療総合センター・センター長)の下で開催。シンポジウム2つ 講演2つ 一般演題18題の他、研修会が行われた。 対象:本会会員に加え、非会員も参加。医療・教育・福祉・その他の多分野に及び、のべ300人が参加した 開催数:1回 効果:小児保健医療に関するシンポジウム「子どもの療育環境を考えよう」で、病院内・外での本邦および海外の取り組みについて、様々な立場の専門家からの知見を得た		第7回学術大会開催 目的・内容:平成17年12月3日(土)4日(日)、奥山真紀子大会長(国立成育医療センター・こころの診療部長)の下で開催予定。シンポジウム 特別講演・セミナーを企画し、一般演題も募集する 対象:本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、のべ300人の参加を見込んでいる 開催数:1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
- 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
5.子どもの心・体と環境を考える会	その他（小児保健医療水準の維持・向上に関する学際的なエビデンスの集積）	研究会誌「子どもの健康科学」第5巻1号発行 目的・内容 昨年度第5回学術大会の講演およびシンポジウム（子どもの危機を突破せよ」生き生きとした子どもを育む環境作り）」について演者が論文化した研究会誌を作成 対象 本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ）に配布。一部の図書館に謹呈 配布数 350部を発行、配布 効果 前回大会で報告された実践や知見を、学会誌の形で広く伝達することができた		テーマ別研究会の開催 目的・内容 平成17年4月に第3回を開催（テーマは「ストレスマネジメント教育」軽度発達障害」）。平成17年度中に第4回も開催予定（テーマ未定） 対象 本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、各回50人の参加を見込んでいる 開催数 2回
15.全国保健所長会	29, 30	ポスター「妊産婦の喫煙・飲食をなくしましょう」ストラップ「胎児・乳幼児の受動喫煙防止」 目的・内容 妊娠中の喫煙と飲酒、妊婦、子どもの受動喫煙の防止の普及啓発」を目的とした。 対象 全国保健所長会 566ヶ所 開催数 ポスター A2版 600枚、A4版 3000枚、ストラップ 10000個 効果 受動喫煙についての再認識が得られた。		
16. (社)全国保健センター連合会				リーフレット作成・配布「お産のためのエクササイズ」「もぐもぐごっくん」「おなかすいた」「ごはんまだ？」絵本と出会う」 内容 市町村保健センター等への配布により妊娠・育児期の有効な指導の支援をはかる。 配布先 市町村保健センター、研修会参加者等
19.NPO難病のこども支援全国ネットワーク	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	ネットワーク電話相談室 目的・内容 病気や障害のある子どもと家族を対象に情報提供する。 対象 病気や障害のある子どもと家族を対象に578件の相談を受けた。 開催数 月曜日から金曜日の午前11時から午後3時 効果 病気や障害のある子どもと家族からの相談を受けることで家族を支えた。	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	ネットワーク電話相談室 目的・内容 病気や障害のある子どもと家族から、医療・教育・福祉に関する相談を受ける。 対象 自由 開催数 毎週月曜～金曜 11:00～15:00 03-5840-5973

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
19.NPO難病のこども支援全国ネットワーク	43 サマーキャンプ等による在宅患児の集団指導の推進	サマーキャンプ “がんばれ共和国” 目的 内容 病気や障害のある子どもと家族のQOLのために 対象 病気や障害のある子どもと家族 開催数： おーきな輪キャンプ(130名 / 沖縄県名護市)7/30～8/1 七夕キャンプ(127名 / 宮城県蔵王町)7/31～8/2 あしがらキャンプ(195名 / 神奈川県大井町)8/5～8 がんばれ共和国in九州(140名 / 大分県湯布院町)8/20～22 おいでんほうらいキャンプ(愛知県鳳来町)8/27～29 効果 外出経験のない重度の子ども達が、親やきょうだいとともに非日常の体験を楽しんだ。	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	ピア・サポート活動 目的 内容 病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が、支援を必要とする人へのサポート活動。 対象 病気や障害のある子どもと家族 開催数 事務局は毎日。国立成育医療センターでは火・木・金 10:00～16:00
	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	こどもの難病シンポジウムの開催 死の受容と生き方への支援 日時 :平成 16年 5月 22日 場所 :国立オリンピック記念青少年総合センター 対象者 :自由 参加者 :250名 効果 :内容は報告書になったほか、17年 5月大月書店から出版されることになった。	43 サマーキャンプ等による在宅患児の集団指導の推進	サマーキャンプ “がんばれ共和国” 目的 内容 病気や障害のある子どもと家族のQOLのために 対象 病気や障害のある子どもと家族 開催数： おーきな輪キャンプ6/25～6/26(沖縄県北谷町) あしがらキャンプ7/30～8/1(神奈川県大井町) 七夕キャンプ8/6～8/8(宮城県蔵王町) おいでんほうらい8/20～8/22(愛知県鳳来町) がんばれ共和国in九州8/27～8/29(熊本県阿蘇町)
	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	養護教諭セミナー 2004 病気や障害のある子を知るために 日時 :平成 16年 11月 13日～14日 場所 :国立オリンピック記念青少年総合センター 対象者 :養護教諭 受講者 :88名	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	親の会活動の支援 目的 内容 病気や障害のある子どもと家族のQOLのために、親の会連絡会、研究 研修活動、VTR製作その他。 対象 病気や障害のある子どもと家族 開催数 親の会連絡会 = 4月、7月、10月、1月開催。研修会 = 2月第1週に開催 VTR製作 = 年間 5団体を募集して製作
	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	病弱教育セミナー 2005 病気療養児のより良い教育のために 日時 :平成 17年 1月 14日～16日 場所 :国立オリンピック記念青少年総合センター 対象者 病弱教育担当教員 受講者 :26名	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	こどもの難病シンポジウム 内容： 明日の在宅生活を考える 日時 :平成 17年 4月 23日 (土) 場所 :国立オリンピック記念青少年センター 参加 :自由
	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	親の会ハンドブック 2005 目的 内容 :小児難病親の会活動の内容を医療 教育 福祉の専門家に理解してもらう 対象 :こども病院、大学病院、保健所、養護学校等へ送付した。 配布数 :3000部製作した。	43 慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	養護教諭セミナー 2005 目的 内容： 病気や障害のある子を知るために 日時 :平成 17年 11月 12日 (土)～13日 (日) 場所 難病ネット研修室 対象 :主に養護教諭

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
19.NPO難病のこども支援全国ネットワーク	43	ピア・サポート事業 目的・内容 病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が支援を必要としている家族からの相談を受ける。 対象 国立成育医療センターに相談窓口が設置された。 開催 :ピア・サポーター 5名とピア・コーディネーター 4名が相談を受ける。	43	病弱教育セミナー 2006 目的・内容 : 病気療養児のより良い教育のために 日時 :平成 18年 1月 14日 (土)~15日 (日) 場所 難病ネット研修室 対象 主に病弱教育担当教員
				啓発人形劇「The Kids on the Block」 目的・内容 地域の小学校や子ども会を通じて、病気や障害のある子の理解のための人形劇を上演する 対象 健全児
20.(社)日本医師会	35	「あなたにもできる心肺蘇生法」カードの作成・配布 配布先 都道府県 都市区医師会・官公庁他 作成部数 200万部 効果 国民に心肺蘇生法についての知識を、普及・啓発することができた。	35	「あなたにもできる心肺蘇生法」カードの作成・配布 配布先 都道府県 都市区医師会・官公庁他 作成部数 約200万部
	38	子ども予防接種週間の実施 平成17年3月1日～7日 予防接種チェック表の作成・配布 目的・内容 :予防接種率の向上 効果 :予防接種率を向上することができた。	38	子ども予防接種週間の実施
	38	乳幼児保健検討委員会を開催 目的・内容 :母子保健・小児医療の充実のための具体的環境整備について検討 対象 委員 14名 開催数 :4回開催	38	乳幼児保健検討委員会の開催 目的・内容 :母子保健、小児医療の充実のための具体的環境整備」について検討 対象 委員 14名 開催数 :4回開催予定
	38	平成16年度乳幼児保健講習会を開催 平成17年2月27日(日) 目的・内容 :テーマ「母子ともに輝く社会環境づくりをめざして」 対象 :日本医師会会員 参加人数 約500人 開催数 :1回開催 効果 :小児科医が乳幼児保健の必要性について、認識を高めることができた。		平成17年度乳幼児保健講習会を開催予定 平成18年2月19日(日) 対象 :日本医師会員 参加人数 500人を予定 開催数 :1回開催予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
22.(社)日本家族計画協会	全般	<p>平成16年母子保健家族計画全国大会(健やか親子21全国大会) 目的・内容:「健やか親子21」を推進するための全国大会 対象:行政関係者・医師・コメディカル及び、健やか親子21の推進関係者 開催数:1回(宮城) 効果:健やか親子21の推進のための啓発になった。</p>	2, 3, 4, 8, 9, 21, 22, 29, 30	<p>電話相談「女性のための健康ホットライン」、思春期「FPホットライン」、不妊ホットライン」、DCサポートコール」 目的・内容:思春期の精神的・肉体的な問題に対する悩み相談及び、一般婦人の健康問題に対する悩み相談 対象:思春期の子ども及び一般 開催数:毎週月～金 10:00～16:00</p>
	25, 27, 33, 34	<p>セミナー 第11回乳幼児の事故予防セミナー 目的・内容:小児事故予防のため、効果的な企画の立て方や、情報の収集と分析 対象:コメディカル、保育園・幼稚園関係者 開催数:1回(東京) 効果:具体的な事故予防事業の企画をつくり実践出来るプランニングの構築</p>	全般	<p>平成17年母子保健・家族計画全国大会(健やか親子21全国大会) 目的・内容:「健やか親子21」の普及啓発 対象:「健やか親子21」の推進関係者 開催:奈良</p>
24.(社)日本看護協会	39	<p>研修会「子どもと家族を救う小児救急看護」の開催 目的:救急時における子どもの状態を正確に判断し、関連づけた小児救急の技術を学ぶ。また、子どもの救急患者の特徴、家族の危機的状況を踏まえたコミュニケーション技術や必要とされている小児救急外来の役割・機能を学ぶ。 対象:平成16年11月1・2日 神戸研修センター(参加者133名) 平成17年1月27・28日 看護教育 研究センター(参加者121名) 開催数:2日間×2回 効果:救急医療における看護実践技術が向上した。</p>	39	<p>研修会「子どもと家族を救う小児救急看護」の開催 内容:小児のフィジカルアセスメント・小児看護に必要な主要理論とその活用・治療と看護の基本的知識・安全なケア環境・治療薬物の安全な投与・小児救急の現状と課題・危機的状況を踏まえた子供と家族へのコミュニケーション 対象:看護職 開催数:2日(定員100名)</p>
	43	<p>ガイドライン「小児慢性疾患患者の退院調整に関する指針」の作成 目的:小児慢性疾患患者が生活の場を医療機関から在宅へ円滑に移行できるよう、患者の在宅療養支援体制を整備する。 内容:小児慢性疾患患者の退院調整を行うにあたっての基本的考え方とそのプロセス、看護者の責務と役割等。 対象:会員所属施設(各1部)、都道府県看護協会(各10部)その他関連団体等に配布 配布数:22,000部配布 効果:小児慢性疾患患者の在宅療養の受け入れ体制が整備に貢献した。</p>	39	<p>小児救急看護認定看護師の育成 目的:救急外来を受診する小児患者や家族への対応だけでなく、子どもの虐待や育児力の低下している母親を支援する看護師を育成する。 内容:講義、演習、隣地実習等 対象:看護職 開催数:1年(定員30名)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）

-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
25 .日本公衆衛生学会			6, 29	<p>禁煙ガイドラインの作成</p> <p>目的・内容 本学会を含む国内 9学会合同の作成班により「禁煙ガイドライン」を作成・発行する（作成班事務局は、日本循環器学会）。本学会は、禁煙治療の総論を担当するが、各論には「未成年者」や「妊婦」の禁煙治療の方法も掲載される。</p> <p>対象 診療や健康診断に従事する医師・歯科医師を対象としたガイドライン</p> <p>配布数 合同作成班として1000部（無償配布分）</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
26.(社)日本産科婦人科学会		<p>地方部会担当公開講座 目的・内容・女性のライフサイクルにおける健康支援に関する話題を取り上げ、一般の方への啓発を行う ・女性のための健康講座(思春期の性、内膜症、更年期)(北海道) ・女性の健康を考える(更年期、癌)(青森) ・中高年女性の美容と健康(岩手) ・妊娠中のあなたへのちょっとしたアドバイス(山形) ・女性のための健康セミナー1(健康とスポーツ、がん予防)(茨城) ・今、摂食障害を再考する(栃木) ・食生活と癌(子宮体癌)(埼玉) ・DVIについて学ぶ(千葉) ・地域のお産を考える(静岡) ・婦人科がん検診(富山) ・母と娘の産婦人科フォーラム(子宮癌、卵巣癌、乳ガン)(石川) ・抗癌剤の副作用に立ち向かって(岐阜) ・子どもを育てることの楽しさと厳しさ(滋賀) ・女性特有の痛みに対処する? 月経痛、慢性骨盤痛から骨粗鬆症の痛みまで(大阪) ・更年期を美しく健康に(奈良) ・体にやさしい治療を求めて(和歌山) ・女性の健康を考える(頸癌検診、性感染症)(鳥取) ・女性のための健康講座(鳥根) ・健康な赤ちゃんを産むために(岡山) ・女性のためのがん予防講座(徳島) ・みずみずしいお肌と健康を維持する(香川) ・第18回性教育セミナー(愛媛) ・骨粗鬆症について(高知) ・自分の体と愛する人を大切にするために-性感染症とその影響-(福岡) ・中高年の健康講座(更年期、骨粗鬆症)(佐賀) ・他人に聞けない悩み(尿もれ、おりもの・かゆみ、子どもが出来ない)(熊本) ・よい子を産むために(宮崎) ・女性の性感染「性感染と、子宮癌、不妊、妊娠、青少年期の教育と指導」(沖縄) 対象：一般 総計2,951名+ 開催数 全国28カ所で開催 効果 女性のライフサイクルにおける健康に関する専門的な情報の啓発を図ることができた。</p>		<p>地方部会担当公開講座 目的・内容・女性のライフサイクルにおける健康支援に関する話題を取り上げ、一般の方への啓発を行う テーマ 婦人科がんで死なないためには 安全な出産に向けて ・卵巣癌の早期発見と治療(仮題) ・岐阜県の性感染症の実態 婦人科癌に関する内容 21世紀の女性の健康(仮題) 癌の撲滅を目指して-子宮癌・卵巣癌の治療の現況- ・女性の健康を考える ・女性のための健康講座 婦人科がん検診 性差を考慮した女性医療 ・卵巣がんについて(未定) ・第19回性教育セミナー 対象：一般 開催数 全国30カ所で開催予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
28.日本思春期学会			2, 3, 8, 9, 10, 12, 27, 28, 60, その他	市民公開講座「これからの子育て」 食べる力を育てる 事故にあわないために 親が子どもにできること 思春期の性への理解 世代を越えて支え合う思春期の健康 目的・内容：子育てに焦点を絞って、現代的課題について学ぶ 対象：第24回日本思春期学会の一環として開催される市民公開講座。対象者は会員と一般市民500名程度 開催数：参加予定人数は公開講座500人、学術集会500名
30.(社)日本小児科医会	37, 38	子ども予防接種週間 目的・内容：予防接種の接種奨励の強化,特に麻疹について 対象：全国1,695医療施設、利用件数7,004件 配布数：ポスターの配布10万枚 平成17年3月1日～7日 効果：極めて有効であった。アレルギー児への指導は有益であった。	31	日本小児科医会セミナー・市民公開講座 目的・内容：少子高齢社会における小児医療と保健。特に、母乳育児、子どもの心身症について市民との共同研修 対象：約1,500名 配布数：ポスター1,000部、チラシ3,000部、資料1,500部
	29	「子どもをタバコの害から守る」合同委員会（日本小児科連絡協議会） 目的・内容：妊娠中の喫煙防止、育児期間中の両親の自宅での喫煙防止 子どもを受動喫煙から守る、子どもの喫煙開始の防止、子どもの禁煙支援、子どもに関わるすべての専門職の禁煙宣言。 開催数：合同委員会開催 1回 効果：日本小児科連絡協議会が共同歩調を合わせて、取り組みを開始した	39, 41	小児医療の今後に関するフォーラム 目的・内容：日本の小児医療について将来構想の検討 対象：日本小児科医会会員 約6,000名 開催数：1日間
			37, 38	子ども予防接種週間 目的・内容：予防接種の重要性の周知と接種推奨の強化 対象：国民 開催数：ポスター 10万枚、医療機関 約8,000
			38	麻疹ワクチンの接種率の継続調査と重症麻疹調査 目的・内容：入院を必要とする麻疹合併症児の調査と予防接種の勧奨 対象：日本小児科医会セミナー（札幌）日本小児保健学会（下関） 開催数：1日間（札幌）3日間（下関）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
30.(社)日本小児科医会			29	子どもをタバコの害から守る」合同委員会開催 目的・内容：健康日本21」の目標値、未成年者の喫煙率 0% (2010年迄)達成の為の活動 対象：日本小児科医会、日本小児保健協会、日本小児科学会 開催数：年 1～2回
31.(社)日本小児科学会	25	正常新生児の管理基準の作成(継続中) 目的・内容：正常新生児のより良いケアの普及 対象：小児科医、産婦人科医 効果：作成途中	28	子どもの生活改善委員会に、子どもの事故防止委員会を設置 目的・内容：交通事故の実態とチャイルドシート着用との関係についての調査研究(日米合同による調査) 対象：一般市民
	28	子どもの生活改善委員会に、子どもの事故防止委員会を設置 目的・内容：交通事故の実態とチャイルドシート着用との関係についての調査研究(日米合同による調査) 対象：一般市民 効果：資料収集中	6, 29, 60	子どもをタバコこの外から守る委員会(日本小児保健協会、医師会との合同活動) 目的・内容：子どもの喫煙防止、受動喫煙防止、などのための啓蒙活動、禁煙指導 対象：子ども、一般市民、行政、医師
	39	小児医療供給体制の改革ビジョンを作成 目的・内容：わが国の小児医療・救急医療体制の改革 対象：厚生労働省、医師会、学会員 効果：地方会毎に、地域の実情調査と実情に応じた医療供給体制のブループリント作成	31, 39	小児医療供給体制の改革ビジョンの啓蒙と実現のための活動 目的・内容：わが国の小児医療・救急医療体制の改革 対象：厚生労働省、医師会、学会員
	37	結核予防法の改正等に係わる乳児へのBCG接種についての要望書を厚生労働省に提出 目的・内容：乳児へのBCG接種率の低下の防止 対象：厚生労働省 効果：状況に応じた運用の可能性が開かれた	23, 25	MRSA対策の提言とガイドラインの作成 目的・内容：新生児室におけるMRSAによる疾患の発生予防 対象：小児科医
	39	小児救急市民フォーラム 目的・内容：小児救急医療の改善 対象：一般市民、小児科医、一般医、300名 開催数：2回 効果：一般市民の小児救急問題についての関心が高まり、理解が深まった	23, 25	新医師臨床研修における新生児教育基準案の作成 目的・内容：新生児ケアの標準化 対象：初期研修研修医
				32, 39

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）

-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
31.(社)日本小児科学会			31, 32, 39	急病時の対応パンフレット作成 目的・内容:急病時にどのように対応したらよいかを一般向けに分かり易く解説し、救急受診をするか否かの決定に役立たせる 対象:一般市民
			1, 4, 42, 59	育成医療の在り方に関する委員会による活動 目的・内容:一般小児科医の必須条件としてのこどもの心の問題を扱える小児科医の育成 対象:小児科医、特に初期臨床研修医および小児科専門医
			25	正常新生児管理基準の完成 目的・内容:正常新生児の健全な育成をはかる為の医師の教育 対象:小児科医、初期研修医
			25	ビタミンK投与法の再検討 目的・内容:新生児出血性疾患予防 対象:小児科医、初期研修医、看護師
			41	小児科医の勤務環境と勤務状況の実態の調査 目的・内容:小児科医の勤務状況を改善し、もって安全な小児医療の確保を目指す 対象:一般市民、行政
32.日本小児看護学会	43	研修会「気管切開を行って退院する子どもと家族へのケアマニュアル活用術」 目的・内容:気管切開を行って退院し、地域での在宅生活に移行する子どもと家族を支援する看護職を対象として作成したケアマニュアルを用い、2日間にわたる研修会を実施した。 対象:開催県並びに近県の看護師等 計200名 開催数:2回開催(兵庫県、宮城県) 効果:気管切開のみならず、在宅医療を必要とする子どもと家族に対する理解を深めるとともにコミュニケーション方法や地域との連携について、実際的に学ぶことができた。	42, 43	日本小児看護学会甲信越地方会「新潟小児看護研究会研究集会」 テーマ「小児看護における家族のとらえ方? 子どもと家族の幸せを目指した看護実践のために」 開催目的:家族の持てる力を知り、病気の子どものとその家族に向けている各立場の医療職者の関心および理解のしかた、また、家族は我々医療職者にどのような期待と希望を持っているのか等の実際の声を聞き、子どもと家族の幸せを目指した看護実践を推考していく。 内容:講演およびシンポジウム 対象:甲信越地区を中心に、子ども・家族を支援する医療・教育・福祉関係者 50名 開催数:1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
32.日本小児看護学会	42, 43等	<p>学術集会開催 メインテーマ「小児看護とケア環境 - 人と場とシステムからのアプローチ - 」</p> <p>目的・内容：子ども達が入院している病院・施設や在宅におけるケア環境が、子どもや家族にとっての生活や病気・治療体験等にどのように影響しているのか、また看護は専門職として何をすべきかについて、シンポジウムやテーマセッション、一般演題の発表とディスカッションを通して検討した。</p> <p>対象：看護師等 約770名 開催数：1回開催（宮崎県）</p> <p>効果：子どもと家族のためのケア環境について、先端的な取り組みに関する情報を得たり、研究成果をもとに討論したりすることを通して、小児看護に携わる看護職として、取り組むべき課題を再認識する機会となった。</p>	42, 43	<p>日本小児看護学会第15回学術集会 メインテーマ「育てあおう！小児看護の未来を築く力」</p> <p>開催目的：対象者のニーズに即した専門性の高い小児看護を提供する「小児看護の未来」を築くために、いま臨床、教育、研究に携わっている看護師ができることは何かを共に考え、課題を明らかにし、将来の方向性を見極める機会とする。</p> <p>内容：講演2題、シンポジウム1題、テーマセッション5題、一般演題多数</p> <p>対象：全国の小児看護の実践・教育・研究に携わる看護職者 1000名 開催数：1回</p>
			42, 43	<p>日本小児看護学会北海道地方会 テーマ「子どもの主体性を尊重する看護の実現に向けて」</p> <p>開催目的：子ども・家族の幸せのために、子ども・家族を支援する職種が一堂に集まり、連携のきずなを確かめ合い、さらに発展させる。</p> <p>内容：講演、テーマセッション、一般演題</p> <p>対象：北海道地区を中心に、子ども・家族を支援する医療・教育・福祉関係者 100名 開催数：1回</p>
33.日本小児救急医学会	36, 31, 32, 33, 35, 39	<p>講演会「子どもの急病・事故の予防と応急処置」</p> <p>目的・内容：急病時の対応、事故予防を中心に、保育者の健全養育の意識を高めるとともに、その応急処置の啓発</p> <p>対象：一般市民、保育関係者、小児医療関係者</p> <p>開催数：1回開催、石川県金沢市</p> <p>効果：その後の保育関連講習会に開催につながり、地域に健全保育の意識の向上が見られた</p>	36, 31, 32, 33, 35, 39	<p>リーフレット「家庭の中での事故を防ごう」(小児科学会と合同で)</p> <p>目的・内容：家庭内事故等、および救急蘇生法、救急車の呼び方などの解説リーフレット</p> <p>対象：全国小児科診療所を中心に保護者に配布中、育児サークル、保育所などにも無料配布中</p> <p>開催数：10,000部初刷</p>
			36, 31, 32, 33, 35, 39	<p>市民公開講座「エキスパートによる急病事故の予防とその対応法」</p> <p>目的・内容：子どもの発達に特徴付けられる急病・事故の予防法とその応急対応法の解説を中心とした講演形式</p> <p>対象：一般市民、保育関係者、小児医療関係者 約300名を対象</p> <p>開催数：7月2日、仙台市 国際会議センター</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
34.(社)日本小児保健協会		小児保健課題と挑戦 内容:平成16年10月28~30日、盛岡市民文化センター 参加 1,500名 第51回日本小児保健学会		
		小児保健関連課題全般 内容:平成16年中、支部小児保健学会 約1万名参加 46全国都道府県支部		
		乳幼児健診の基本的な診かたと対応 内容:平成16年5月12日、調布市医師会館 約100名、調布市医師会学術講演		
		これからの子育て支援のあり方 乳幼児健診の効果的役割 内容:平成16年7月27日(火)、福岡県吉塚合同庁舎803会議室 約300名出席 母子保健指導者研修会		
		これからの乳幼児健診 育児支援と保健福祉の連携 内容:平成16年10月15日(金)法華クラブホテル函館 約150名参加 函館小児科医会講演		
38.日本赤十字社	25, 27, 28, 33, 34, 35	赤十字幼児安全法一般普及講習会（一般、支援員養成）、短期講習会の開催 目的・内容:こどもに起こりやすい事故に対する救命手当・応急手当の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心とした講習会を開催した。 対象:一般 開催数:開催数(一般260回、支援員養成244回、短期1,468回) 受講者数(一般5,069人、支援員養成4,199人、短期40,048人) 効果:赤十字幼児安全法についての理解が得られた。	25, 27, 28, 33, 34, 35	赤十字幼児安全法一般普及講習会（一般、支援員養成）、短期講習会の開催 目的・内容:こどもに起こりやすい事故に対する救命手当・応急手当の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心とした講習会を開催する。 対象:一般 開催数:2,125回
	25, 27, 28, 33, 34, 35	赤十字幼児安全法指導員養成講習会の開催 目的・内容:赤十字幼児安全法の指導者を養成するための講習会を開催した。 対象:一般 開催数:開催数10回、養成者数92人 効果:赤十字幼児安全法指導員が養成され、今後の講習活動の更なる拡大が期待できる。	25, 27, 28, 33, 34, 35	赤十字幼児安全法指導員養成講習会の開催 目的・内容:赤十字幼児安全法の指導者を養成するための講習会を開催する。 対象:一般 開催数:11回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
38.日本赤十字社	25, 27, 28, 33, 34, 35	視聴覚教材(ビデオ)、小冊子の活用及び販売 目的・内容 赤十字幼児安全法の一層の普及を図るため、日本赤十字社各都道府県支部等で活用するとともに、(株)日赤会館を通じて一般の方へ頒布した。 対象：一般 配布数：ビデオ約400本、小冊子約52,000部を頒布 効果 赤十字幼児安全法の一層の普及が得られた。	25, 27, 28, 33, 34, 35	視聴覚教材(ビデオ)、小冊子の活用及び販売 目的・内容 赤十字幼児安全法の一層の普及を図るため、日本赤十字社各都道府県支部等で活用するとともに、(株)日赤会館を通じて一般の方へ頒布する。 対象：一般 配布数：ビデオ500本、小冊子約50,000部を頒布
	32, 41	小児救急医療拠点病院 目的・内容：2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため 対象：2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々 開催数：全国で5赤十字医療施設にて設置	32, 41	小児救急医療拠点病院 目的・内容：2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため。 対象：2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々 開催数：全国で5赤十字医療施設にて設置
	14, 15, 19, 23, 24, 25, 26, 36, 53, 60	総合周産期母子医療センター 目的・内容：周産期医療の充実のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で7赤十字医療施設にて設置	14, 15, 19, 23, 24, 25, 26, 36, 53, 60	総合周産期母子医療センター 目的・内容：周産期医療の充実のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で7赤十字医療施設にて設置
	14, 15, 19, 23, 24, 25, 26, 36, 53, 60	地域周産期母子医療センター 目的・内容：周産期医療の充実のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で9赤十字医療施設にて設置	14, 15, 19, 23, 24, 25, 26, 36, 53, 60	地域周産期母子医療センター 目的・内容：周産期医療の充実のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で9赤十字医療施設にて設置
	23, 25, 26, 36	NICU病床の設置 目的・内容：新生児集中治療室の充実のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で33(382床)赤十字医療施設にて設置。	23, 25, 26, 36	NICU病床の設置 目的・内容：新生児集中治療室の充実のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で33(382床)赤十字医療施設にて設置
	25, 26, 27, 28, 32, 33, 36, 37, 38, 43, 52	乳幼児健康相談の実施 目的・内容：乳幼児の健康管理体制の醸成のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で62赤十字医療施設にて実施	25, 26, 27, 28, 32, 33, 36, 37, 38, 43, 52	乳幼児健康相談の実施 目的・内容：乳幼児の健康管理体制の醸成のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で62赤十字医療施設にて実施
	28, 32, 33, 37, 38, 43	小児健康相談の実施 目的・内容：小児の健康管理体制の醸成のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で50赤十字医療施設にて実施	28, 32, 33, 37, 38, 43	小児健康相談の実施 目的・内容：小児の健康管理体制の醸成のため 対象：患者様及びそのご家族 開催数：全国で50赤十字医療施設にて実施

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
38.日本赤十字社	14, 15, 16, 29, 30	妊産婦健康相談の実施 目的・内容 妊産婦の健康管理体制の醸成のため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で57赤十字医療施設にて実施	14, 15, 16, 29, 30	妊産婦健康相談の実施 目的・内容 妊産婦の健康管理体制の醸成のため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で57赤十字医療施設にて実施
	32, 36, 37, 38, 46, 48	育児相談 目的・内容 育児全般における相談 啓蒙の場を提供するため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で39赤十字医療施設にて実施	32, 36, 37, 38, 46, 48	育児相談 目的・内容 育児全般における相談 啓蒙の場を提供するため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で39赤十字医療施設にて実施
	14, 15, 23, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 36, 46, 48, 52, 60, 61	母親学級の開催 目的・内容 妊産婦の出産 育児に関する学習会の場を提供するため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で68赤十字医療施設にて実施	14, 15, 23, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 36, 46, 48, 52, 60, 61	母親学級の開催 目的・内容 妊産婦の出産 育児に関する学習会の場を提供するため 対象 患者様及びそのご家族 開催数 全国で68赤十字医療施設にて実施
40.日本保育園保健協議会	41	研修会「保育と保健」 内容・目的 保育園における諸問題 対象 園医、保育士、看護師、保育関係者 開催数 3回（東京都、神奈川県、北海道） 効果 保育園における保健に関する諸問題を、スタッフで共有することができた。	41.45.49.59	生涯研修システム 内容・目的 現在の保育園における諸問題を理解し、保育保健の専門的な資質を向上させる。 対象 園医、保育士、園長、看護師、栄養士など 開催予定 4回（全国4ブロックで開催）
43.日本母性衛生学会	25, 39, 41	教育講演〔5〕「Neonatal Resuscitation Program (NRP) 紹介（第45回日本母性衛生学会学術集会）」 目的・内容 北米におけるNRPの意義、養成、実態、手順について紹介し、日本においても新生児の蘇生に習熟したスタッフの配置の必要性を知らせる。 対象 第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（東京都） 効果 北米におけるNRPの意義を知るとともに、わが国における応用を学んだ。		
	29	シンポジウム「母子の健康と喫煙対策・禁煙支援」(第45回日本母性衛生学会学術集会) 目的・内容 (1)女性の禁煙の現状と禁煙サポートの実際、(2)行政の立場から、(3)助産師の立場からみた妊婦の喫煙状況と禁煙支援、(4)妊婦の喫煙と産科診療現場の現状 対象 第45回日本母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（東京都）		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
43.日本母性衛生学会	29	特別講演 妊婦の禁煙支援 - 妊婦の禁煙支援は思春期から - 」（第8回佐賀母性衛生学会学術集会） 目的・内容 妊婦の禁煙支援について講演する。 対象 第8回佐賀母性衛生学会学術集会の参加者 開催数：1回開催（佐賀県）		
46.（社）日本薬剤師会			6（喫煙防止） 課題3の29にも関連	小冊子「喫煙と健康」いや！たばこの煙」 目的・内容 都道府県薬剤師会・地域薬剤師会が実施する市民向け講習会や、学校薬剤師が担当校において授業で使用するなどして、たばこや受動喫煙による健康影響について情報伝達を行うなど、未成年の喫煙防止に関する啓発活動を実施 対象：一般市民、児童・生徒 配布数：2種各20000部予定
47.（社）日本理学療法士協会			23、40、53、61	研修会「内容未定」 目的・内容 法人としての社会貢献 対象 専門職および一般 開催数：1回を予定
48.（財）母子衛生研究会	1～4、15、16、18、28、35、37、38、45、48、49、55	「母子保健指導者研修会」開催 目的・内容：健やか親子21」の課題をふまえ、地域母子保健活動の一層の向上を図る 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者9,200名 開催数：46回開催（新潟県を除く全都道府県） 効果：地域母子保健活動の向上に寄与できた	1～4、15、16、18、28、35、37、38、45、48、49、55	「母子保健指導者研修会」 目的・内容：保健、教育、福祉等の分野を越えた連携を図り、母子保健の諸問題への対応。 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者 10,000名 開催数：年間47回
	37、38	「これからの母子保健を考えるシンポジウム（母子保健の立場から感染症を考える）」開催 目的・内容：感染症法改正の意義と感染症の最新情報を伝達し、母子保健の向上を目指す 対象：保健師、看護師、保育士等母子保健関係者 370名 開催数：1回開催（東京都） 効果：各施設、地域での感染症対策の向上に寄与できた。	27、28、33、34	「事故防止教室」 目的・内容：モデルルームを使用し家庭内外での事故予防についての正しい知識の普及啓発。 対象：家族 約90組 開催数：年間6回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
48.(財)母子衛生研究会	14～16, 18, 23, 25～30, 33, 35～38, 46, 48, 52	母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」配布 目的・内容 妊婦に対する妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発 対象 妊娠届出時に母子健康手帳副読本として妊婦130万人に配布 配布数 全国の市町村等を通じて130万部配布 効果 妊婦が妊娠・出産・育児に対する正しい知識を身につけることができた。	14～16, 18, 23, 25～30, 33, 35～38, 46, 48, 52	母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」配布 目的・内容 妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象 妊娠届出の妊婦 130万人 配布数 年間約130万部
	28, 33, 35	「わが家の安心ガイドブック」配布 目的・内容 乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発。 対象 :1歳6か月児健康診査時等の保護者120万人に配布 配布数 全国の市町村等を通じて120万部配布 効果 乳幼児の事故防止、応急手当の仕方を保護者に分かりやすく開設したことで、事故の減少に大きく貢献した。	28, 33, 35	「わが家の安心ガイドブック」配布 目的・内容 乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発 対象 :1歳6か月児健康診査時等の保護者122万人 配布数 年間約122万部
49.(社)母子保健推進会議	28, 48, 49, 50, 51, 52, 55, 58, 62	第4回母子保健推進員全国大会 目的 健やか親子21の推進、母子保健推進員組織の育成、地域母子保健活動の推進 内容 特別講演「次世代育成支援推進のために 母推さんに期待すること」、活動報告(宮城県丸森町・南方町)、シンポジウム「地域で支える健やか親子」 対象 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等350名 開催数 :1回開催(宮城県) 効果 正しい知識の習得とともに、全国から参集の母子保健推進員等の交流・意見交換の場となった。	1, 2, 5, 28, 29, 44, 45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 60, 62	母子保健推進員研修会 目的 市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,000名程度 開催数 :11回開催(佐賀県・富山県・山口県・鹿児島県・岐阜県・新潟県・宮城県・茨城県・長野県・青森県・沖縄県)
	1, 2, 3, 5, 28, 29, 44, 45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 60, 62	母子保健推進員研修会 目的 市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健(薬物・自殺・性感染症)、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告など 対象 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,600名 開催数 :13回開催(山口県・佐賀県・群馬県・富山県・鹿児島県・岐阜県・宮城県・茨城県・長野県・青森県・沖縄県・栃木県・豊田市) 効果 母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。	29, 62	歯科保健技術者研修会 目的 8020の達成には乳幼児期からの対策が重要で、特に一斉指導ができる母子保健・学校保健の現場への応用を欠くことはできない。その関係に対して研修を行う。 内容 :タバコと歯周病、学童期の歯科保健 など 対象 保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等350名 開催数 :2回で開催(鳥取県、青森県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
- 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
49.(社)母子保健推進会議	29, 62	歯科保健技術者研修会 目的 :8020の達成には乳幼児期からのむし歯予防対策が重要で、特に一斉指導ができる母子保健 学校保健の現場への応用を欠くことはできない。その関係に対して研修を行う 内容 :タバコと歯周病、スポーツと歯科保健、学童期の歯科保健 など 対象 :保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等350名 開催数 :2回で開催 (鳥取県、青森県) 効果 :歯科保健知識の普及と関係者の連携の強化が図られた。	8, 27, 28, 33, 40	ポスター 「子どもを家庭内の事故から守りましょう」 目的及び内容 :母子保健強調月間 (10月)に併せ制作、母健連絡カードの利用促進と子どもの事故予防の啓発を図る 対象 :都道府県、政令市、中核市、関係団体 配布数 20,000枚制作配布
	18, 27, 28, 33, 40	ポスター 「子どもを家庭内の事故から守りましょう」 目的及び内容 :母子保健強調月間 (10月)に併せ制作、母健連絡カードの利用促進と子どもの事故予防の啓発を図る 対象 :都道府県、政令市、中核市、関係団体 配布数 :45,800枚制作配布 効果 :子どもの事故予防と母健連絡カードの利用促進の意識の啓発につながる。	29	ポスター、リーフレット「ママ、パパ、タバコすわないで」 目的 :妊婦の喫煙による弊害を広く知らしめる 内容 :ポスターにはサブタイトルに 「タバコは早産 低体重児の誘因になります」と入れ、またリーフレットには喫煙による危険性 (副煙流含む)を簡潔に記載。 対象 :都道府県、政令市、病産院、関係団体 配布数 :ポスター 3,000枚、リーフレット 20,000枚、
	29	ポスター、リーフレット、クリアファイル「ママ、パパ、タバコすわないで」 目的 :妊婦の喫煙による弊害を広く知らしめる 内容 :ポスター、クリアファイルにはサブタイトルに 「タバコは早産・低体重児の誘因になります」と入れ、またリーフレットには喫煙による危険性 (副煙流含む)を簡潔に記載。 対象 :都道府県、政令市、病産院、関係団体 開催数 :ポスター 20,000枚、リーフレット 86,000枚、クリアファイル 15,000枚制作配布 効果 :妊婦の喫煙がもたらす弊害についての教材が少ない中、必要な情報を端的に訴え、意識の啓発につながっている。	2, 3, 6, 8, 9, 15, 16, 17, 27, 28, 33, 44, 45, 46, 48, 49, 55, 60, 62	組織育成費の助成 目的 :母子保健推進員組織の育成・支援、 内容 :県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各10万円の助成を行う 対象 :佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会 開催数 :1回 (7県)
	2, 3, 6, 8, 9, 15, 16, 17, 27, 28, 33, 44, 45, 46, 48, 49, 55, 60, 62	組織育成費の助成 目的 :母子保健推進員組織の育成・支援、 内容 :県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各10万円の助成を行った。 対象 :佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会 開催数 :1回 (7県) 効果 :県レベルの協議会設置の必要性は皆が認識しながらも予算の捻出が困難であることが多く、同育成費は、母子保健推進員活動を支える大きな力となっている。	1, 2, 3, 5, 8, 9, 15, 16, 18, 27, 28, 29, 33, 40, 43~53, 58, 60, 62	地域母子保健福祉情報紙 「母推さん」の発行 目的 :地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 :厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など 対象 :都道府県 保健所・市町村 関係団体等毎月10,000部発行 発行回数 :12回 (毎月1日10日発行)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
49.(社)母子保健推進会議	1, 2, 3, 5, 8, 9, 15, 16, 18, 27, 28, 29, 33, 40, 43~53, 58, 60, 62	地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行 目的 地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容 厚生労働省、専門職による情報提供、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象 都道府県 保健所・市町村 関係団体等へ月10,000部発行 発行数 :12回(毎月1日10日発行) 効果 行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、毎号全国から多くの反響が寄せられている。		
52.日本小児総合医療施設協議会	38	小児総合医療施設における 予防接種率向上への取り組み 院内感染管理への取り組み調査 目的 内容 定期予防接種率の向上とワクチン予防可能疾病の院内感染管理を強化する。 対象 小児総合医療施設26施設 開催数 :アンケート調査26枚 効果 麻疹ワクチン 風疹ワクチン接種率向上に向けて前向きに取り組んでいた。一方院内感染管理については各施設に温度差が認められた	37, 38	各地の定期予防接種の実情調査 目的 内容 :BCG、DPT、OPV、麻疹、風疹各ワクチンの接種率向上を計る。 対象 小児総合医療施設26施設 開催数 :アンケート調査 26枚
55.日本小児神経学会	43	医療的ケア講師養成セミナー 目的 内容 身体障害者療育支援、教育現場での医療的ケアの実践、障害を持つ児への診療支援。2004年11月23日、大津市で開催 対象 :日本小児神経学会会員55名 開催数 :1回開催、滋賀県 効果 :各地からの参加者が教育現場での教師による医療的ケアの指導者となりうる素地ができた。	43	医療的ケア講師養成セミナー 目的 内容 身体障害者療育支援、教育現場での医療的ケアの実践、障害を持つ児への診療支援。2005年7月2日、仙台市で開催予定。 対象 :日本小児神経学会会員70名 開催数 :1回開催、宮城県
	家庭でのこどもの生活への助言	公開シンポジウム「子どもにおよぼすメディアの影響」 目的 内容 :子どものTV始め、メディアによる影響について、社会で話題になっていることの何が重要かを討論。2004年7月17日、東京 対象 :日本小児神経学会会員および一般市民 開催数 :1回開催、東京都 効果 :メディアによる影響について、科学的検証をする必要性を訴えることができた。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
57.全国病児保育協議会	46, 48, 49, 50, 51	<p>第14回全国病児保育研究大会</p> <p>目的・内容： 市民公開講座「横浜市の子育て支援策と病後児保育」 行政説明 基調講演「病児・病後児保育の課題と問題点」 特別講演「子どもと感染症」 病（後）児保育施設実態調査 基礎研修 施設長研修「病児保育のあり方を問う」 ステップアップ研修「食物アレルギーと除去食」 「子どもの呼吸障害」 分科会「遊びと環境」病児保育のニーズと問題点「保育・看護」 「保育所併設型セッション」 「なんでも相談」 ポスターセッション「食事の工夫」「自由テーマ1」「自由テーマ2」 実習講座「日赤幼児安全法」 対象：病児保育事業に携わる者（病児保育施設長・医師・保育士・看護師・教育関係者等）約700名 開催数：1回開催 効果：市民公開講座で一般の方々にも聞いていただくことで究極の子育て支援「病児保育」をより広く知ってもらうことができた。また、病児保育に携わる年数に関係なく多岐に渡る立場と職種の人々が一同に会して意見交換することができた。</p>	46, 48, 49, 50, 51	<p>第15回全国病児保育研究大会</p> <p>目的・内容： 市民公開講座「地域で子ども達が健康で輝いた生活をおくるための環境づくり～親のこころ・子のこころ～」 基調報告「少子化社会対策の現状と課題」 シンポジウム「地域で子ども達が健康で輝いた生活をおくるための環境づくり～家庭・地域・関連機関の役割～」 会頭講演「病児保育とそれをとりまく社会環境～連携と課題～」 行政説明 分科会 基礎研修 対象：病児保育事業に携わる者（病児保育施設長・医師・保育士・看護師・教育関係者等） 開催数：1回</p>
67.全国母子保健推進員連絡協議会	28, 48, 49, 50, 51, 52, 55, 58, 62	<p>第4回母子保健推進員全国大会</p> <p>目的：健やか親子21の推進、母子保健推進員組織の育成、地域母子保健活動の推進 内容：特別講演「次世代育成支援推進のために 母推さんに期待すること」、活動報告（宮城県丸森町 南方町）、シンポジウム「地域で支える健やか親子」 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 350名 開催数：1回開催（宮城県） 効果：新しい知識の習得とともに、全国から参集の母子保健推進員等の交流・意見交換の場となった。</p>	28, 48, 49, 50, 51, 52, 55, 58, 62	<p>第5回母子保健推進員全国大会</p> <p>目的：健やか親子21の推進、母子保健推進員組織の育成、地域母子保健活動の推進 内容：特別講演、シンポジウム等 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 700名 開催数：1回開催（奈良県）</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
67.全国母子保健推進員連絡協議会	1, 2, 3, 5, 28, 29, 44, 45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 60, 62	母子保健推進員研修会 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健(薬物・自殺・性感染症)、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告など 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,600名 開催数:13回開催(山口県・佐賀県・群馬県・富山県・鹿児島県・岐阜県・宮城県・茨城県・長野県・青森県・沖縄県・栃木県・豊田市) 効果:母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。	1, 2, 5, 28, 29, 44, 45, 46, 48, 49, 50, 52, 58, 60, 62	母子保健推進員研修会 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:虐待予防、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等5,000名程度 開催数:11回開催(佐賀県・富山県・山口県・鹿児島県・岐阜県・新潟県・宮城県・茨城県・長野県・青森県・沖縄県)
	29, 62	歯科保健技術者研修会 目的:8020の達成には乳幼児期からのむし歯予防対策が重要で、特に一斉指導ができる母子保健・学校保健の現場への応用を欠くことはできない。その関係に対して研修を行う。 内容:タバコと歯周病、スポーツと歯科保健、学童期の歯科保健 など 対象:保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等350名 開催数:2回で開催(鳥取県、青森県) 効果:歯科保健知識の普及と関係者の連携の強化が図られた。	29, 62	歯科保健技術者研修会 目的:8020の達成には乳幼児期からの対策が重要で、特に一斉指導ができる母子保健・学校保健の現場への応用を欠くことはできない。その関係に対して研修を行う。 内容:タバコと歯周病、学童期の歯科保健 など 対象:保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等350名 開催数:2回で開催(鳥取県、青森県)
	1, 2, 3, 5, 8, 9, 15, 16, 18, 27, 28, 29, 33, 40, 43~53, 58, 60, 62	地域母子保健福祉情報紙「母推さん」の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催数:12回(毎月1日10日発行) 効果:母子保健推進会議に協力し制作した本紙は、情報収集、アイディアの提供にもなり毎月全国から多くの反響が寄せられている。	1, 2, 3, 5, 8, 9, 15, 16, 18, 27, 28, 29, 33, 40, 43~53, 58, 60, 62	地域母子保健福祉情報紙「母推さん」の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催数:12回(毎月1日10日発行) 効果:母子保健推進会議に協力し制作した本紙は、情報収集、アイディアの提供にもなり毎月全国から多くの反響が寄せられている。
68.(財)児童健全育成推進財団			28, 33	冊子「家庭における安全対策ハンドブック(仮題)」 目的:内容:家庭内における事故予防のための冊子を作成 配布数:5,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
- 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
73.(財)母子健康協会		小児医学研究助成 趣旨:小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 助成月日:平成16年11月1日 研究期間:平成16年11月～平成17年10月 対象課題:小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者:大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。 対象:件数11件、総額1300万円 開催数:毎年1回募集 効果:今回は応募総数57件(対象機関110ヵ所)で質の高いテーマが選ばれた。研究成果が期待できる。		小児医学研究助成 趣旨:小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 募集月日:平成17年6月 対象課題:小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者:大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。 対象:件数12件前後、総額1300万円
		小児医学研究助成報告書の発行 趣旨:助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う 平成13年度医学研究報告書(平成15年5月31日発刊)部数300部 対象:全国の主要な大学研究機関110ヵ所に贈呈 効果:研究成果情報の共有化が図れる		小児医学研究助成報告書の発行 趣旨:助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う 平成15年度医学研究報告書、平成17年5月発刊、部数300部 対象:全国の主要な大学研究機関110ヵ所に贈呈
		シンポジウム「保育と食育」開催 趣旨:保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」。ホームページに収録し、広く情報提供する。 開催日時:平成17年1月25日(火)14時～17時 会場:アルカデア市ヶ谷(東京都千代田区) 講師:前川喜平(東京慈恵会医科大学名誉教授)・大和田操(女子栄養大学教授)・加藤則子(国立医療科学研修企画部長) 対象:受講者数126名(都内保育園・幼稚園の先生) 開催数:年1回東京地区 効果:参加者の殆どが有意義なシンポジウムであったとアンケートで答えており、それを裏付けるように活発な質疑応答があった。本年よりホームページに詳細内容を掲載しており、全国の保育関係者でも活用が期待できる。		シンポジウム開催 趣旨:保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 開催日時:平成18年1月 会場:東京都内 *シンポジウムの詳細内容を機関誌・ホームページで紹介 対象:(都内保育園・幼稚園の先生) 開催数:年1回東京地区

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
- 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画
73. (財)母子健康協会		<p>機関誌「ふたば」発行 趣旨: 保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う 発行月日: 平成16年11月 発行部数: 14,000部 内容: B6版77頁「子どもの心身を蝕む社会環境」子どもの腎臓病」言葉の問題と対応」等 対象: 全国の主要な保育園・幼稚園 13500ヶ所に贈呈 効果: 小冊子であるが、内容が充実して教科書代りに活用して頂いている。本年よりホームページに全文を掲載しており、全国の保育園関係者の活用が期待できる。</p>		<p>機関誌「ふたば」発行 目的・内容: 機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う 発行月日: 平成17年11月 発行部数: 14,000部 内容: B6版80頁、*記事の全文をホームページで紹介 対象: 全国主要な幼稚園 保育園 13500ヶ所に贈呈</p>
74. 日本不妊看護学会	20・22	<p>第2回 日本不妊看護学会学術集会の開催 目的・内容: 「不妊とカップルの性を考える」をメインテーマとして、会長講演「不妊とカップルの性を考える」シンポジウム「生殖性に揺れるカップルの傍らに」として一般演題の発表を行った 対象: 不妊看護に関わっている看護職を中心として、約113名の参加 開催数: 年1回の開催、東京都 聖路加看護大学、平成16年9月5日 効果: 各地域で活躍している看護職の連携を深め、同時に、不妊看護の対象者の理解が深まり、看護職の資質の向上に貢献した。</p>		
	20・22	<p>第1回実践不妊看護セミナーの開催 目的・内容: 「メインテーマ「不妊治療の開始と終結」 対象: 不妊看護に携わっている看護専門職者73名の参加 開催数: 1回の開催、東京都 聖路加看護大学、平成16年9月4日 効果: 不妊で悩んでいる対象者の治療における問題認識が深まった。</p>		
	20・22	<p>不妊看護に関する勉強会 目的・内容: 不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るために、事例検討を中心に実施している。 対象: 看護専門職者 述べ80名 開催数: 年4回(愛知県:4月17日、東京都:7月17日、兵庫県:1月15日、福岡県:1月29日) 効果: 各地域で開催することで、相互の連携が深まり、事例検討を中心に行うことで、対象者への看護ケアの質向上につながった。</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
- 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備 -

団体名	16年度の取り組みテーマ	16年度の取り組み実績	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み行動計画	
74 .日本不妊看護学会	20・22	不妊看護に関するニュースレターの発行 目的・内容 :学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う 対象 :本学会員 164名 開催数 :年 4回の発行 各164部 効果 :不妊に関する最新の情報提供が行われ、看護師の質の向上に向けた活動ができた。	20・22	第3回 日本不妊看護学会学術集会の開催 目的・内容 :メインテーマ :不妊看護の専門性の追求と発展 会長講演 :不妊治療によって妊娠した女性への看護 / シンポジウム : 生殖医療における倫理的問題への対応 / 一般演題 対象 :看護専門職者 開催数 :平成17年 8月27日 (土) 9:15 ~ 17:15 千葉大学 けやき会館 (千葉市稲毛区弥生町1-33)	
	20・22	日本不妊看護学会誌第1巻第1号の発行 目的・内容 :不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る。 対象 :本学会員 164名 開催数 :年 1回の発行 164部 効果 :学会員の不妊看護実践・研究成果を報告することで、看護ケアの質の向上に結びつき、さらに不妊看護者の自己研鑽のための意欲を引き出した。	20・22	第2回実践不妊看護セミナー 目的・内容 :不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るために実施する。 対象 :看護専門職者 開催数 :年 2回 (兵庫県神戸市 8月 6日開催 聖路加看護大学21世紀COEプログラム共催)	
	20・21・22	看護ケア提供者のための相談業務 (コンサルテーション) の開始 目的・内容 :インターネットを通じて学会員が不妊看護を提供する上での困難事例、生殖医療の知識、ジレンマ、看護の場の改善に関する相談を受けることで、看護ケアの質の向上をめざしている。 対象 :本学会員全員 開催数 :インターネット上であり いつでも受け付けている。 効果 :本年度に開設したばかりで、会員数がまだ少なく、この活動が広く知られていないため、成果は今後に期待される。	20・21・22	看護ケア提供者のための相談業務 (コンサルテーション) の開始 目的・内容 :インターネットを通じて学会員が不妊看護を提供する上での困難事例、生殖医療の知識、ジレンマ、看護の場の改善に関する相談を受けることで、看護ケアの質の向上をめざしている。 対象 :本学会員全員 開催数 :インターネット上で随時受け付け中	
			20・22	不妊看護に関するニュースレターの発行 目的・内容 :学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う 対象 :看護専門職者で本学会員 配布数 :年 4回、会員数分を配布予定	
				20・22	日本不妊看護学会誌第2巻第1号の発行 目的・内容 :不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る。 対象 :看護専門職者で本学会員 配布数 :年 1回、会員数分を配布予定
				20・22	各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援 目的・内容 :不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るための支援を行う 対象 :看護専門職者 開催数 :各地域で行われる勉強会の支援